

# 第10回十日町市中心市街地活性化協議会 議事録（要旨）

【日 時】	平成26年2月18日（火）	午後3時30分～午後4時15分
【場 所】	十日町商工会議所	多目的ホール
【出席者】	委 員	28名
	事 務 局	5名
	市 担 当	4名
	報 道 等	8名
	合 計	45名

## 1. 開会挨拶：中心市街地活性化協議会会長 丸山秀二

（要旨）第10回目の協議会開催である。雪まつりでは関東圏が大雪に見舞われるという想定外のことが起こった。本日皆様からご検討いただく内容については事業の進捗状況・変更認定申請についてである。

## 2. 報告

### (1) 主な事業の進捗状況について

**説明者**：市担当（富井・中心市街地活性化推進室 室長）

#### ① ほくほく線十日町駅高架下事業について

2月6日付で正式にほくほく線十日町駅高架下事業に取り組むことになった。この取り組みについては中心市街地活性化基本計画を策定している段階中の平成24年8月頃から北越急行(株)と協議を開始し、昨年12月16日に北越急行(株)の大熊社長と関口市長との間で基本的な内容について合意となった。これを受けて北越急行(株)の取締役会が2月6日に開催され、この場をもって正式に決定した。

取り組み背景としては、平成27年春に北陸新幹線延伸後の特急はくたか号が廃止されること、様々な方から十日町らしさを感じられない、土産物店がない、常に駐車場が満車状況といった指摘を受けていること。現在の駅舎北側の高架下柱には、将来を見込んで建設当時から増床できるように梁をつなぐための鉄筋が用意されていることを受けて、十日町駅に求められる機能を検討してきた。

施設は北越急行株式会社が整備して市が借り受ける形で行う。この取り組みについては十日町市中心市街地活性化基本計画の掲載事業とする。市の観光交流課と十日町市観光協会の事務室を移転予定であり、観光案内や土産物販売、テナント、市民の交流スペースなどを整備する予定である。

#### ② まちなかステージづくりWSについて

現在、中心市街地の市民活動センター、街なか公民館、市民交流センター、これから整備する予定の施設活用方法についてワークショップを開催し検討している。第1回の12月15日、第2回の1月26日の内容をニューズレターにして発行している。次回は3月2日に開催する。

### ③ 中心市街地空き店舗活用促進事業について

認定を受けた直後の昨年7月に制度をスタートさせたが、中心市街地の商業地域・近隣商業地域の中で空き地・空き店舗になっている建物等を借りて事業を展開する方に最高で100万円の助成金を出して支援していく取り組みで、昨年は2件の申し込みがあった。この取り組みを行ってきた中で、空き地になっているところでの事業展開、中古物件を取得して事業を行いたいという声があった。それらを支援していくためにはこれまでの制度では支援が足りないということから詳細を検討している段階である。更に充実した支援となるように4月から新制度をスタートする予定。

**発言者**：なし

### ・(仮称) ファイン10プロジェクト (旧田倉跡地活用事業)

**説明者**：村山政文 (株)村山土建・社長)

旧田倉跡地活用事業について説明が行われた。

事業主体は(仮)株式会社ファイン・テンが行う。こちらは現在、特定目的会社設立申請中。

変更点は、隣接地購入に伴い敷地面積が475㎡増の2,175㎡になり、住居戸数63戸、定員85人程度になる予定。日程については、25年度中に建築確認・会社設立、サービス付き高齢者向け住宅登録・工事契約を行い、26年度から施工準備・施工を行っていく予定である。

**発言者**：なし

### ・(仮称)産業・文化発信館整備事業 (旧娯楽会館跡地活用事業)

**説明者**：藤田 (株)フタ)

旧娯楽会館跡地活用事業について説明が行われた。

変更点については、新規土地購入による敷地面積の拡大。事業スケジュールについては平成26年3月下旬に工事入札を行い4月上旬に工事着手。平成27年7月頃オープン予定である。

各施設詳細については、1階にカフェレストラン、商業テナント、雁木市や地元手作り市等を行える広場を設ける予定。2階には多目的スペースとオフィスを設ける。

**発言者**：なし

### ・中心市街地整備推進機構 (NPO法人にぎわい) の取り組み

**説明者**：樋熊 (NPO法人にぎわい事務局長)

平成25年度の活動については、中心市街地にぎわい力アップ事業として、ホームページ作成やにぎわいSESSION、にぎわいラジオ、飲食店マップの作成、高校生まちなか文化祭等を行ってきた。市民活動支援団体活動拠点設置事業としてはフラットステーションの活用を行い、中心市街地活性化市民活動支援事業としては、まちなか元気応援助成金等を行ってきた。2月28日、3月8日には来年度に向けて企画力アップ講座を開催する予定である。まちづくり活動推進事業については、先進地視察として富山市のコミュニティガーデンの取り組みを視察した。来年度フラワーガーデンコンテストを開催する予定である。

**発言者**：なし

### 3. 協議

#### (1) 中心市街地活性化基本計画の変更認定申請について

**説明者**：市担当（富井・中心市街地活性化推進室 室長）

平成26年度開始予定としていた事業を平成25年度の補正予算で行うことになったため、事業実施時期を繰り上げるようになった。実施計画を策定するにあたって徐々に内容が固まってきたため、事業主体の変更や支援を受ける制度の変更を行った。

**発言者**：中心市街地活性化協議会会長 丸山秀二

変更については時期や場所の変更のみで、補助率の変更はないのか。

**説明者**：市担当（富井・中心市街地活性化推進室 室長）

今回の基本計画変更の中には個々の事業の補助率変更の要件は入っていない。

### 4. 閉会挨拶：中心市街地活性化協議会副会長 関口純夫

(要旨) ほくほく線十日町駅高架下事業について説明があったが過去には、高架橋下にショッピングセンターを誘致する計画があったため、増床出来る状態にしておいた経緯がある。

どんな組織体もトップの99%で決まる。成功する人は素直で、勉強好きで、プラス発想出来る人と言われている。リーダーが頑張れば街も変わっていくと思う。